



【福祉について学ぶ(4年生)】

12月9日、4年生は浅口市社会福祉協議会のご協力のもと、福祉について学びました。2校時には、聴覚障害者について学び、手話を体験しました。3・4校時には、車いすを体験し、車いすの介助の仕方や、自走時の操作方法について学びました。

■手話体験

浅口手話サークル「青い鳥」のボランティアの方にお越し頂き、聴覚障害について学びました。聴覚障害者の方は、どのようにしてコミュニケーションをとっているのかを4年生が質問しました。「手話、筆談、ジェスチャー、口話（口びるの形で会話を読み取る方法）、空書」などで、コミュニケーションをとっているとのことでした。

その後、手話と指文字を教えて頂き、全員が手話で自己紹介をしました。「私の名前は、〇〇〇〇です。よろしくお願ひします。」。机上でしか理解できていなかった聴覚障害の方の苦勞や工夫について、理解を深めることができました。



■車いす体験

介助ボランティア「たんぼぼの会」のボランティアの方にお越し頂き、体育館の中で、車いすの介助の仕方を学習しました。段差がある所では、どのように車いすを扱うと、乗っている人に震動を与えずむかを学びました。また、自分で車いすを動かして、まっすぐやジグザグに進んでみて、操作の難しさを体験しました。



一人一人が幸せに暮らしていけるよう、他の人から支えてもらいながら、お互いを大切にし、一緒に支え合って生きていくことが「福祉」なのだと、今日の体験学習から4年生は学ぶことができました。大切な気づきを与えてくださった、浅口市福祉協議会の皆様、ボランティアの皆様、有り難うございました。